

# 全日本教職員組合 養護教員部ニュース

2019年10月  
No.132  
発行：情宣部

## 保健室からの発信 2019 夏の全国学習交流集会 in 富山 開催

7月27日～28日、「保健室からの発信 夏の全国学習交流集会」が富山で開催され、全国から122人の仲間が集まり、学習と交流を深めました。

書道家温井和海さんによるオープニングの書道パフォーマンスでは、～席上揮毫「躍動の書」～と題し、「翔」をテーマに2作品を揮毫されました。会場内どこからでも見られるようにライブ中継があり、目の前で作品ができあがっていく様子を見ることができました。静寂の中にも躍動感があふれ書の世界に引き込まれました。



記念講演は「子どもたちに安心した未来を～今改めて憲法の意義を問う～」と題して、弁護士の長尾詩子さんより講演いただきました。

改憲への動きが進む中、改憲されたらどうなるかを知るために、現行の憲法を知る必要性を感じました。憲法において大事なことは「個人の尊重を根拠として、人権、平和を守る」ということ、これらを守るための憲法は「権力につけたブレーキ」だということ、このブレーキがなくなってしまうたらこの国はどうになってしまうのかと考えさせられるお話でした。

「改憲草案についてわかりやすく解説していただいたので、このことをしっかり他の人に伝えていかなければと思いました」「憲法についての学習がもっと世の中に広がればいいと今回の講演を聞いて思いました。真実を知ることの大切さ、組合活動の大切さを実感しました」などの感想がありました。

自主講座では「富山型デイサービス～人と人が支え合うことの大切さ～」と題して、富山型デイサービス このゆびと一まれの理事長惣万佳代子さんよりお話いただきました。富山赤十字病院を退職した3人の看護師がどのようにして「民営デイケアハウスこのゆびと一まれ」を立ち上げたのか、経験を通して語られました。「誰もが地域で共に暮らす」「みんなが一つ屋根の下で暮らすことは日本の文化である」という理念が富山型のデイサービスの実現に結びついたので感じました。

その後、夕食交流会では、地元富山の見どころを映像を使ってユーモアたっぷりに紹介され、最初から富山ワールドに引き込まれていきました。楽しく和やかな雰囲気の中で交流ができました。恒例のブロック紹介などで会場が笑いに包まれ、次期開催地の岡山からもアピールがありました。ホテルのご厚意により、地元の食材を使ったご当地メニューや、地酒などが振る舞われ富山の夜を堪能しました。「他県の先生と関わることができて良かった」「全国に多くの仲間や先輩がいるのがわかり心強く思いました」「富山ならではの風の盆踊りを体験できて良かった」など夏学ならではの感想が寄せられました。

2日目は5つの分科会で計9本のレポートが報告されました。それぞれのレポートから学び、討論の柱をもとに活発な論議が繰り広げられました。

次回は2021年岡山での開催となります。仲間を誘って、参加しましょう！